


以降 参考資料として
掲載いたします

08-ウタヒを読み解く

カタカムナ医学校マスター講座
第8回

ウタヒを読み解く



08-ウタヒを読み解く

第17章

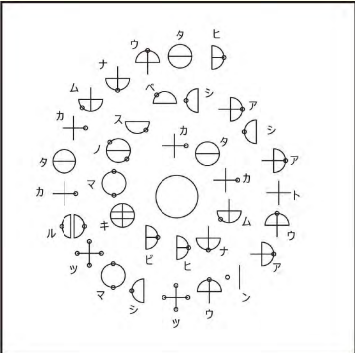
ウタヒを読み解く

ここからはヤタノカカミの構造や意味が述べられている
ウタヒのうち、重要な部分をお話したいと思います。
ウタヒを読み解くことは、カタカムナの本質を知るためには
とても重要です。

08-ウタヒを読み解く

ウタヒ第1首

カタカムナ ヒビキ マノスベシ アシアトウ
アン ウツシマツル カタカムナ ウタヒ



08-ウタヒを読み解く

第一首の「マ」のスヘシとは... 高次元空間は「マ」「スキマ」「現実の容れ物」

80首のウタヒの中で、**二番目に多く出てくるのが「マ」という言葉**です。

カタカムナの中でも「マ」は重要です。ウタヒの第一首に、マノスヘシと書かれていることから、**どれほど「マ」が重要か**分かります。

「マ」には、剣道の間合いの間と同じ意味があります。目に見えないスペースのことを「間」といいます。剣道だけでなく、**私たちは「間」を生活の至るところで知らず知らずと使っています。**

例えば、**自転車に乗っていて、反対方向からやってくる自転車にぶつからないのは「間」のおかげです。**このような場合の「マ」の意味を一言で言い表すと、**自分の空間的なテリトリー(領土)、目に見えない身体の一部のようなものです。**近年、多くの人に認知されてきた「オーラ」も間の一つです。**間が悪いとか、間に合ったという言葉も「間」を現します。**こういったときの「間」は、**タイミングのような時間を示す言葉として使われています。**

08-ウタヒを読み解く

5

間は、空間や時間、つまり時空間を意味します。「間」は、現実をそこに創造するスペースであり、瞬間です。間があるおかげで、**私たちは目の前にある現実を体験できるのです。**もし、「間」という時間や空間がなかったら、**現実は見れません。**「マ」とは、**現実をその中にあらしめる器、創造する器**なのです。

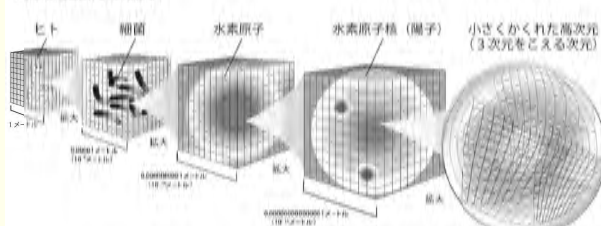
「マ」、「間」の中にも、**あなたの意識が存在します。**
そういった意味で「マ」もあなたです。

08-ウタヒを読み解く

6

「間」の中には高次元空間が内在しています。それは、**原子核の一億分の一という小さいものであるため、科学では検出することはできません。**その極小のサイズのために、**私たちに影響を与えることもありません。**ところが、ウタヒを詠うと、**そのサイズは三次元に影響を与えるほど大きくなります。**そして、**高次元空間によって、電子の軌道は修正され、電子のスピンの方向も正常になります。**その結果、**人は健康で元気になります。**

高次元空間は極小

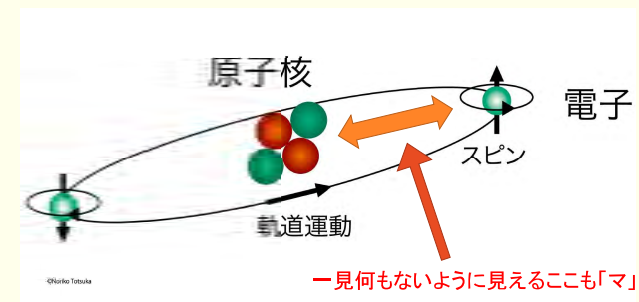


08-ウタヒを読み解く

高次元空間サイズは原子核の1億分の1以下?

7

カタカムナの神髄は 「マ」=空間=無 を コントロール(スヘシ)すること



08-ウタヒを読み解く

8

「マ」という空間

「マ」という空間には、生命を創造する力があります。「マ」という空間には、酸素があるだけでなく、氣やプラーナといった生命エネルギーの元となるエネルギーがあります。「マ」という空間が正常だと、人はそこから氣を受け取り、元気であることができます。「マ」が異常だと、人は逆に氣が奪われ、元気がなくなり、やがて病気になるります。

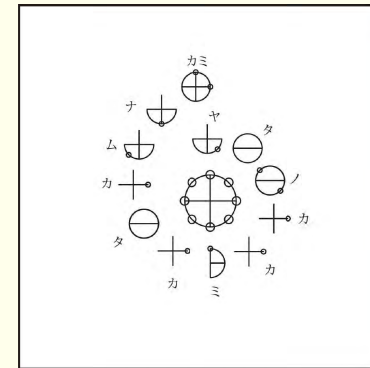


氣やプラーナなど
生命エネルギーの元
となるエネルギーがある

08-ウタヒを読み解く

9

ウタヒ第2首 ヤタノカガミ カタカムナ カミ



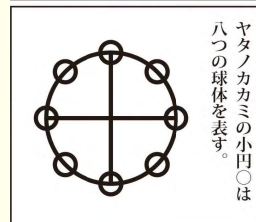
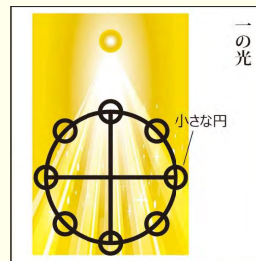
08-ウタヒを読み解く

10

第2首 ヤタノカガミ

ヤタノカガミは宇宙はたった一つの光から生まれ、八方向に伸び、八つの球体になったということ、今の宇宙は八つの球体から発生したことを示しています。

人もたった一つの光から生まれ、成長過程で八つの光に進化します。宇宙と人とは相似なのです。病気を本当に治そうとするなら、ヤタノカガミという私たちを生み出した宇宙の仕組みを知り、実際に使いこなさなければなりません。



08-ウタヒを読み解く

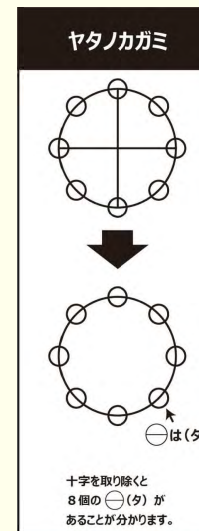
11

「ヤタ」

ウタヒ第2首は、「ヤタノカガミ カタカムナ カミ」です。

ヤタノカガミの「ヤ」は、ウタヒ第5首にヒフミヨイムナヤコトとあるように、8を表しています。

次に、ヤタノカガミの「タ」についての説明です。「タ」は、カタカムナ文字でたと描きます。ヤタノカガミの十字をはずすと、8個ある小円の形がタ(た)の形をしています。ヤタという言葉は「8つのタ(た)があること」を意味します。



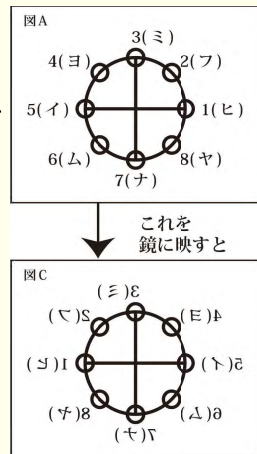
08-ウタヒを読み解く

12

「カカミ」とは

次はヤタノカカミの「カカミ」に注目してみましょう。カカミとは一体どういう意味なのでしょう。カカミとは、文字通り、鏡に映してみるということを意味します。仮にヤタノカカミの小円(た)に順番に数字を入れていくと、図Aのようになります。そして、これを鏡に映すと、図Cのようになります。図Cと同じ数字の配置をヤタノカカミで探すと、それは、図Aを裏から見たときと同じでした。ヤタノカガミには、コインの表と裏のように表だけでなく裏もあるのです。

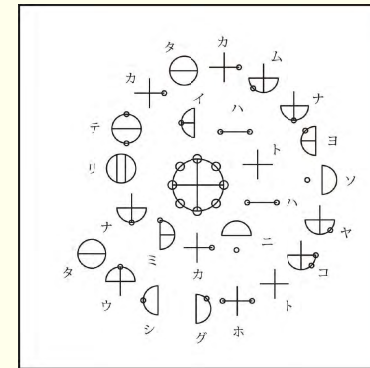
カカミという言葉は、ヤタノカカミに裏があることを私たちに気づかせてくれるためのものでした。



08-ウタヒを読み解く

13

ウタヒ第4首 イハトハニ カミナリテ カタカムナ ヨソヤコト ホグシウタ



08-ウタヒを読み解く

14

カタカムナウタヒ第4首

イハトハ: イは五(言)葉、五母音を表し、トハは十(言)葉＝アタカマハラナヤサワの十音を表す。
イハトハとは五十音図のこと。



カミナリテ: 五十音は創造の源である神であるという意味。
ヨソヤコト: 48音が持つ力を解き放つということ。
ヨソヤコトは四十八音のこと。

五十音図は創造の源(鍵)であり、カタカムナは四十八音がもつ力を解き放つという意味になります。これはカタカムナによって日本語の五十音が言霊としての働きを持つことを意味します。



08-ウタヒを読み解く

15

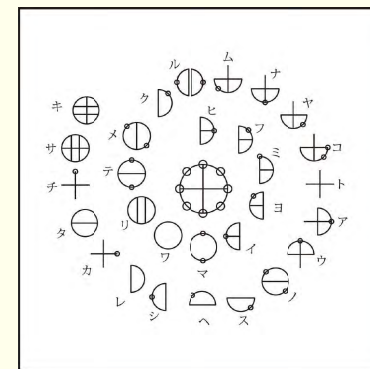
イ
ハ
ト
ハ
ニ

カ
ミ
ナ
リ
テ

ヨ
ソ
ヤ
コ
ト

ホ
グ
シ
ウ
タ

ウタヒ第5首 ヒフミヨイ マワリテメクル ムナヤコト アウノスヘシレ カタチサキ



08-ウタヒを読み解く

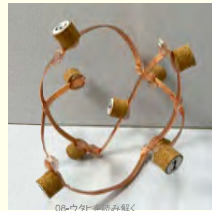
16

第5首



ウタヒ第5首は、「ヒフミヨイ マワリテメクル ムナヤコト」です

ウタヒ第5首は、カタカムナにとって最も重要なメッセージを含んでいます。まずは、ヒフミヨイムナヤコトの意味から見てみましょう。ヒフミヨイムナヤコトは数字を表します。分かりやすいように表にしました。



ム		ヒ	
6		1	
ナ		フ	
7		2	
ヤ		ミ	
8		3	
コ		ヨ	
9		4	
ト		イ	
10		5	

17

まずは図象の解読者である榊崎による解説に耳を傾けるべきだろう。彼は、カタカムナ図象文字が単なる情報伝達のための文字ではなく、じつは、時空の性質を視覚的表現にギリギリのところまで転化した象であり、回転する宇宙球としてみなければならないという。

この場合の時空とは、ニュートンの観念における時空とはまったく異なるのはもちろんである。連続的・等質的・等方的・無限に大きいひろがりのようなユークリッド空間を想像してはならないし、また過去から未来にむけて連続的・等質的・一様に流れていく時間を創造してはならない。さらに宇宙球といってもボール状の物体を想像してはならず、回転といってもコマみたいな運動を想像してはならないのである。

したがって、カタカムナ図象文字を、等質・等方的なユークリッド二次元空間上に描かれた記号あるいは図形として考えることはできない。幾何的・抽象的という言葉に単純に還元するわけにはいかないのである。

謎のカタカムナ文明 秘教科学の最終黙示 阿基米得著/徳間書店

08-ウタヒを読み解く

18

できうれば静的な形態に対する執着を切り捨て、重点を、たえまなく動いて静止することのない形成へと転じたいものである。じつはカタカムナ図象は、つねに変化し変転しているものを一瞬間だけ仮にストップさせ、固定してかろうじて視覚化させたものだからだ。

図象を分割する半円や四分円や線、また円周上に散りばめられた小丸の配位や結合は、暗号作成の場合とはちがって決して恣意的なものではなく、それぞれ特有の意味が隠されている。カタカムナ図象は、固定像に運動像がオーバーラップしているのである。

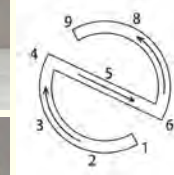
どうもこの図象は、生命物理的なメカニズムを備えた、回転する一つの精妙な装置であるとも考えたくなくなる。そこには自然数論をこえた、ヒ・フ・ミ・ヨ・イ・ム・ナ・ヤ・コトの根本的数論と根本的宇宙論が微妙に組みこまれているようだ。

謎のカタカムナ文明 秘教科学の最終黙示 阿基米得著/徳間書店

08-ウタヒを読み解く

19

カタカムナ数字文字



カタカムナの数字

6~9の基本形	1~5の基本形
横	縦
ム (6)	ヒ (1)
ナ (7)	フ (2)
ヤ (8)	ミ (3)
コ (9)	ヨ (4)
ト (10)	イ (5)

1~9の数字の共通項はこの形です



08-ウタヒを読み解く

20

電子のスピンの方には、規則があります。
つまりスピンの仕方があります。それが下図なのです。

この立体をなぞっていくだけで、
自分の身体の中や自分がいる空間の
電子のスピンが正常に戻ります。



08-ウタヒを読み解く

ヒフミヨイムナヤコトは言魂

ヒフミヨイムナヤコトの言葉には言魂の力があります。イチ、ニ、サン、シー、ゴー、ロク、シチ、ハチ、ク、ジュウでは、言魂の力(神の力)はありません。

ヤタノカカミはヒフミヨイムナヤコトの音でしか作動しないのです。

その点、カタカムナの言葉は、おのずと言魂の力を発揮しますから不思議です。神の言葉なのですね。『古事記』でそれらの言葉が御神名となっているのは、それがわかっていたからでしょう。

カタカムナ言語法-子どもの国語力を飛躍的に伸ばす究極のメソッド
(松永 穂史著/ワニブックス)

ヤタノカガミの立体の数字1~10を見ながら
順番にヒフミヨイムナヤコトを唱える

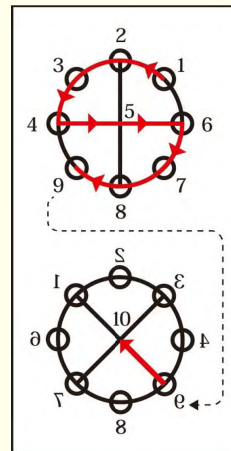
08-ウタヒを読み解く

マワリテメクル...どうしてマワリテ?

ウタヒ第5首のヒフミヨイマワリテメクルムナヤコトは、電子の運行軌道に関する説明です。ヤタノカカミは鏡ではなく、電子が原子核の周りを運行する時の法則を表しています。

その方法を明らかにする方法が、ヤタノカカミという図形と第5首に書かれています。それを平面で表すと、左の図になります。

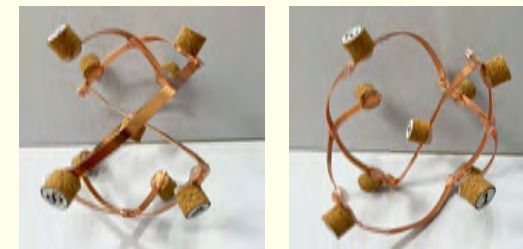
表から裏に回り込みます。これをマワリテメクルといいます。



08-ウタヒを読み解く

マワリテメクルとは

マワリテメクルは、原子核の周りを、電子が一定の法則に従って立体的に公転しながらスピン(自転)している様子を説明しています。

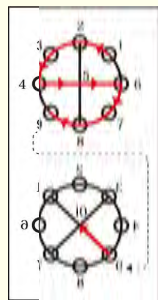
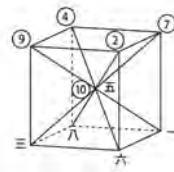
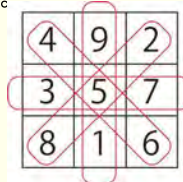


08-ウタヒを読み解く

アウノスヘシカタチサキ

...4と6が合うには5が球の中心に！

ウタヒ第5首の後半は、「アウノスヘシレ カタチサキ」です。アウノスヘシレとは、何と何があるのでしょうか。



08-ウタヒを読み解く



こうすればすぐにあなたは立体のヤタノカカミによって超人間、天地人の人間になれますよ。



右回りと左回りの回転が同時に起こる



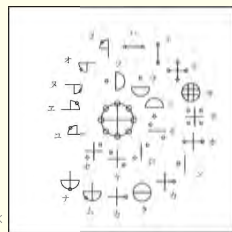
中心がゼロ

08-ウタヒを読み解く

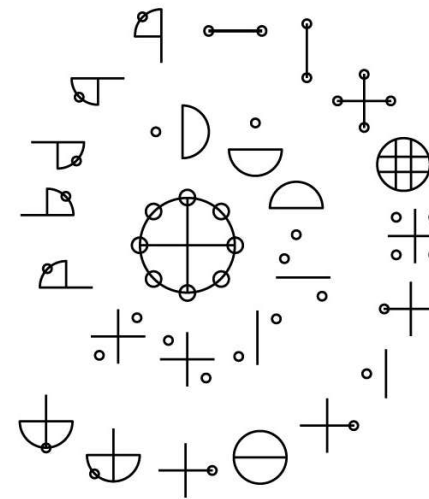
第6首 ソラニモロケセ ユエヌオヲ ハエツキネホン カタカムナ

ウタヒ第6首は、「ソラニモロケセ ユエヌオヲ ハエツキネホン カタカムナ」です。

ユエヌオヲは、電子の回転の仕方のことを表します。ソラとは、ウタヒを詠うとあらわれる高次元空間のことを指しています。ソラニモロケセとは、高次元空間に電子が充満していることをあらわします。ハエツキネホンとは、高次元空間に電子が充満するような状態をつくる方法がカタカムナであるということを意味しています。



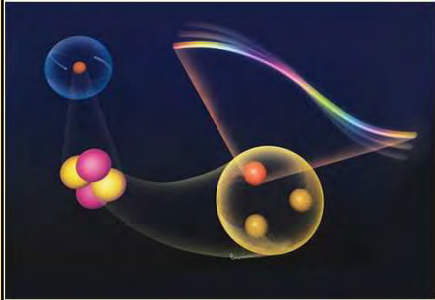
08-ウタヒを読み解く



第6首 - おもて

08-ウタヒを読み解く

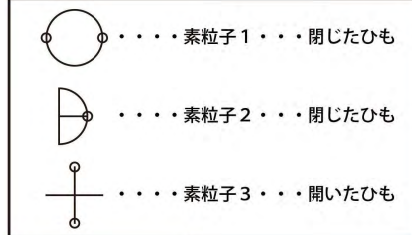
第六首から
カタカムナ文字は超弦理論のヒモ



08-ウタヒを読み解く

ソラノ空間に
モロケヲ現れて充滿する
ユエオエス決して自分の手で結おうと思つても
結えない緒細いヒモ素粒子のヒモ
ハエイネホソ発生させるもとだ
カタカムナカタカムナウタヒが素粒子を発生
させるもとだ
と第六首のカタカムナにはかかれています

ひもの振動の仕方によって
さまざまな素粒子の形として見える。
50種類のカタカムナ文字の正体は
振動するひもによってできるさまざまな
素粒子の姿は振動するひもの節を表わす。



ひも理論

振動の仕方の違いで、いろいろな素粒子に見える

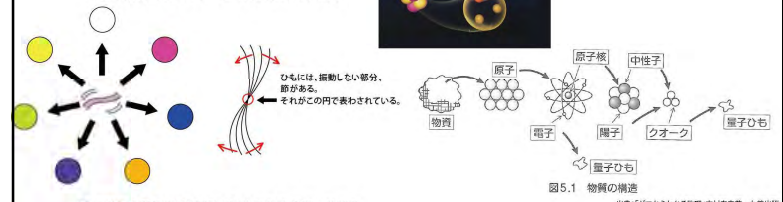


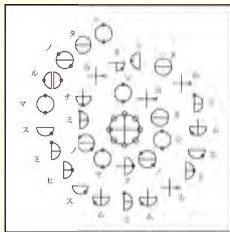
図5.1 物質の構造

出典:「ゼロからわかる物理」志村史太郎 丸善出版

第7首 マカタマノ アミノナカヌシ
タカミムスヒ カムミムスヒ ミスマルノタマ

ウタヒ第7首は、「マカタマノ アミノナカヌシ タカミムスヒ
カムミムスヒ ミスマルノタマ」です。

「マカタマ」の「マ」は、時空間や次元を表します。「タマ」は球
を表します。「マカタマ」とは、図のように時空間や次元が球
状になったものをマカタマと表現しています。人が「マカタマ」
というだけでも、この球状の空間(時空間)や次元が現れます。



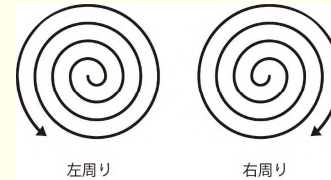
08-ウタヒを読み解く



「マ」
||
時空間や
次元(高次元のこと)

31

タカミムスヒは左まわりの渦を、カムミムスヒは右回りの渦
を意味します。正確には、どちらが左回りか右回りかは問題
ではありません。立体の世界では、上から見て左回りが下か
ら見て右回りになるからです。大切なのは、タカミムスヒとカム
ミムスヒの回り方が正反対ということです。アミノナカヌシ
は、この2つの中心に在って、右回りも左回りもないものです。
3×3の魔方陣の5が、アミノナカヌシにあたります。従って、
アミノナカヌシは、五つの母音ということになります。1234
の渦の巻き方がタカミムスヒで、6789の渦の巻き方がカム
ミムスヒになります。



08-ウタヒを読み解く

32

私たちは常に物事を善悪の見地から捉えてしまいがちですが、実際、二元性などは存在しないのです。本来あらゆるものは三つの要素で構成されています。いわゆる「聖三位一体」と言い表わされるように、いかなる二元性にも必ず三番目の要素が存在することを意味します。たとえば「熱い」と「冷たい」には「温い」があり、「上」と「下」には「中」があるといった具合です。

高次の意識レベルから見れば、二元性は幻妄にすぎません。そこに存在するのは一体性のみであり、「一なる神」あるいは「一なる霊」があらゆるすべての中に動的に遍在しています。これまでに起きたあらゆるすべての物事は、ここから生じているのです。

この本に真実は何もないしかし、それがまさに現実なのである。ポプ・フリゼール著/ナチュラリスドット
08-ウタヒを読み解く 33

神とは特異点(シンギュラリティ)のこと by安田隆氏

相対の世界に生きていて、絶対そのものを捕まえることはできません。でも、絶対を垣間見ることはできる。

それは、陰と陽とか、AとかBとかを決めると、その真ん中に常に「絶対」が顕れるということです。

絶対というのは、見えないから「絶対」なんですよ。

例えば棒磁石を考えてみると、N極とS極がありますね。すると、その真ん中には、NでもないSでもないという「絶対」、つまり「特異点」が存在するはずですね。

この棒磁石をさらに半分にしたら、特異点は変わるわけです。



奇跡の技法 アルケミア 安田隆著/ヒカルランド
08-ウタヒを読み解く 34

特異点という言葉は、もともと、「重力における特異点」という言葉遣いだったんですが、昨今、人工知能(AI)が話題になって、その中で、技術特異点(シンギュラリティ)という用語が使われるようになりました。神様っていうのは、そういう意味で、シンギュラリティ。特異点なんです。

AとBを決めた瞬間に、真ん中に現れる。

重心を探そうとした時に重心が見つかるようにある特異点。そこに、出現している。顕現している。

じゃあ、NとSの真ん中を取り出してくださいというと、無理なんです。絶対的な物は捕まえることはできないけれども、あえて、相対的な物の真ん中に出できます。陰と陽を規定した瞬間に、皆が言っている神様のなものは、実はここに出現しているんですね。

奇跡の技法 アルケミア 安田隆著/ヒカルランド

タカミムスヒ(左回り)とカムミムスヒ(右回り)を規定した瞬間に、絶対的なアマノミナカヌシは顕現する

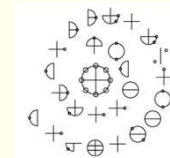
08-ウタヒを読み解く

35

第8首 ウマシタカカム アシカビヒコ トコロチマタノ トキオカシ

表と裏があるヤタノカガミを、紙風船のように膨らませて球にします。すると、球の中心から1から10に向かって線を伸ばすことができます。これを10(カタカムナではト)のキ、トキと言います。トキがはじまる場所、球の中心はトキが生まれる原点を表します。この原点はトキが生まれる前からあるものなので、トキを超えています。

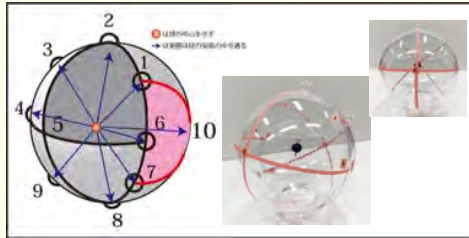
この原点には過去や未来はありません。この原点のことを古神道では、中今と言います。私たちが中今という球の中心に意識を置くと、私たちはトキを超越します。私たちがトキの中に生まれたのではなく、中今という私たちの意識の中にトキが生まれたのです。



08-ウタヒを読み解く

36

トコロ チマタ ノ トキオカシとは、球体の中心に意識を置いてウタヒ第8首を詠むとき、私たちは時(空)を超える(トキオカシ)という意味になります。この球体の中に常に自分がいることを想像することは、トキに制約されず、トキをコントロールして生きることになります。これはウタヒ第8首の具体的な実用の仕方です。



08-ウタヒを読み解く

第8首のウマシアシカビヒコの意味は、ウからアシが生まれたことを意味します。

「アタカマハラナヤサ イチキミヒリニイ(yi)シ……」
 天津太祝詞音図は、「ア」行(イ)から「サ」行(シ)へと並びます。「葦」とは、五十音図を意味する暗号なのです。神道で「麻」が尊ばれるのも「アタカマハラナヤサ」に由来します。

古事記には「葦」という言葉がよく出てきます。「葦舟」「豊葦原瑞穂国(とよあしはらみづほのくに)」「葦原中国(あしはらのなかつくに)」などです。

古事記(ふることみみ)と書置百神(ことたまのもののみ) 加藤周平(かとうしゅうへい) 化カルラビ

言葉が時空間を超えるということの意味するのかもしれませんが。

08-ウタヒを読み解く

「言」に尊称をつけて「御言=命」(みこと)としているのだとすると、ミはフトマニの形態を表すと解釈することもできます。

フトマニと御言(言葉)が一つになってフトマニになります。

言置百神 大下伸悦著/新日本文芸協会オメガ

08-ウタヒを読み解く